

▶家族に囲まれた齊藤彌代治さん(左下)



今も庭の草取りが日課

齊藤彌代治さんは大正2年11月11日に5人兄妹の長男として旧桃生郡飯野川町中島に生まれました。戦時中、仙台にあった馬の飼育施設で働いた以外は、飯野川で暮らし、60歳まで山林での植栽や枝打ち等の仕事に励みました。昭和15年に結婚した妻やしをさん(93)との間に息子5人がおり、孫は16人、ひ孫は13人です。

齊藤さんは現在も毎朝7時に起床し、朝食後は日課にしている庭や畑の草取りに汗を流す等とても規則正



齊藤

彌代治さん 100歳
(河北地区・中島)

しい生活を送っています。そのおかげで15年前に胆石の手術をした以外に大病を患ったことがなく、風邪もめったにひきません。齊藤さん自身も健康の秘訣を「毎日適度に体を動かし、何でも偏りなく食べる」と語ります。

100歳の誕生日を迎えた日は「毎日元気に過ごせるのは家族や地域の皆さんの支えのおかげです」と感謝していました。ご家族は「何事にも一生懸命なおじいちゃん、我が家の誇りです」と話していました。

◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとっておきの話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

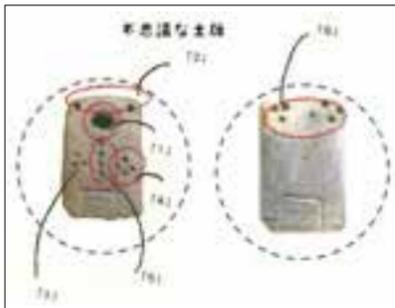
日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課あてにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたもの全てを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

問 秘書広報課(内線4024) ☎986-8501(住所不要)
Eメール ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp



特に考古学に興味が無くても、原始時代と言われる時代に文字や言葉があったら、どんな文字で、どんな言葉で話していたら、どんな言葉で、一度は思った方も多いのではないでしょうか。残念ながら、縄文時代にはまだ文字はありませんでしたが、縄文人が数を認識していたことを示す遺物が、ストーンサークルで有名な秋田県の大湯環状列石から出土しています。

土版(土で作られた板)

文字の無かった縄文人の唯一のメッセージであり、次の言葉ですが、土器の文様を伝えたり、他の村との交流もあり、言葉はあつたと考えられています。北海道や東北地方、沖縄等縄文遺跡の残る地方の言葉(方言)や、古い言い伝えを参考に縄文語を研究している崎山理先生(滋賀県立大学教授)の元で縄文語を勉強されている方と、数年前にお会いする機会がありました。縄文語の一部を教えてください。最後

誰か聞いたことのない縄文語ですが、こんな感じだったのかもしれない。

天、空Ⅱアマ
谷Ⅱヤ
魚Ⅱイワ
集落、居住地Ⅱシマ
(二部で自分の縄張りをシマと言います。縄文時代には故郷との概念は無かったのではないかと)

まちの話題



石巻地区

楽天日本一に市民も歓喜

11月3日(日・祝)

みやぎ生協文化会館アイトピアホール

プロ野球の日本シリーズで巨人と戦う東北楽天を応援しようと、期間中、市内に設けられたパブリックビューイングにはたくさんのファンが集まりました。両チームが勝負をかけた第7戦も、200インチの大型スクリーンの前で約100人が声援を送り続けました。優勝が決まり、楽天が初の日本一になった瞬間、会場の人たちは互いに抱き合う等して喜びを爆発させていました。

石巻地区

10月20日(日)
サン・ファンパーク

大盛況の大漁まつり



水産都市・石巻市の秋の恒例イベント「いしのまき大漁まつり」は、今年も市内外から訪れた大勢の人たちで活気づきました。会場には約30の出店が並び、各種魚介類や水産加工品を市価よりも安く販売しました。毎年人気を集める模擬競りには抽選で当たった150人が参加し、魚介類を競り人のテンポ良い掛け声に合わせて次々と競り落としていきました。

みんなのおた場

届いたお手紙からみんなのおたより紹介



ありがとう

東日本大震災から3年が経とうとしています。誰もが予想もしなかったあの日、仕事先で難を逃れ、帰宅する家がないなんて、夢を見ているみたいでした。父親の死。夫や息子の

津波からの生還。「お願い止まって」と叫んだ地震の恐怖。自衛隊のヘリコプターの飛んでいる音。夜中に目を覚ますと、今も蘇ってきます。それでも、私がいた渡波

小学校の避難所では、数多くのボランティアの方々との出会い、炊き出しが始まり、自宅避難の方々にも提供することができました。あの時の経験は、今の自分に繋がっています。避難所にいたおばあさんから、「生きてよがったべか」と言われ、思わず「生かされたんだから生きなきゃ」と言ったことは、自分に対する言葉でもあったのです。

感謝をしてもきれいなほどの「ありがとう」があり、名古屋、東京、静岡の多くの青年海外協力隊経験者の方々とも繋がっていられることは、とても幸せです。

ありがとう。
(阿部恵久代)

文化財たんぽう 74

縄文時代の文字と言葉

石巻市文化財保護委員

佐藤 隆志

文字の無かった縄文人の唯一のメッセージであり、

次言葉ですが、土器の文様を伝えたり、他の村との交流もあり、言葉はあつたと考えられています。北海道や東北地方、沖縄等縄文遺跡の残る地方の言葉(方言)や、古い言い伝えを参考に縄文語を研究している崎山理先生(滋賀県立大学教授)の元で縄文語を勉強されている方と、数年前にお会いする機会がありました。縄文語の一部を教えてください。最後